

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北関東)	◎	－	－	－
	○	一般小売店〔青果〕（店長）	販売量の動き	・客の動きは悪いままだが、1～3月の緊急事態宣言が解除されたことで、飲食店等の納入先への納品量が増えている。
	○	スーパー（商品部担当）	それ以外	・世間の景気は相変わらずだが、当店ではまん延防止等重点措置や地域経済活性化の恩恵を受け、売上増が続いている。
	○	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・当地域では新型コロナウイルスの影響から、少し良くなっている。3か月前と比べ、早朝から午前中の客の動きがかなり良くなってきている。半面、昼の動き等は多少落ち込んでいる。全体的には3か月前と比べて、少しは良くなっている。
	○	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・前年比で売上100%、来客数99%、客単価100%となっている。ゴールデンウィーク中は、新型コロナウイルスの影響で11日間休業する企業もあり落ち込んだが、月後半は前年を上回る日が増え、1か月のトータルでは前年並みとなっている。
	○	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・高齢者も家に籠もっている状況が続いており、来客数はそれほどでもない。ただし、購買に関しては、いきなり購入していく客もいて、1か月を押し並べると、例年並みの販売量となっている。
	○	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・少しだけ、動き始めた気がするが、新型コロナウイルスの感染拡大で、延期が繰り返されているため、増加はしていない。
	○	通信会社（局長）	来客数の動き	・当店の来客数に変化はみられないが、周囲の飲食店には客足が戻ってきている。その反面、閉店する飲食店も増えてきている。
	○	設計事務所（所長）	来客数の動き	・新規の相談案件が出てきている。新型コロナウイルスの影響が長引くなか、今後を想定して少しずつ動き出しているようである。
	□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・今月も新型コロナウイルスの感染者数が減らない。当地も警戒レベル4となっているので、皆外出を控えているようである。大型店も人通りが少ないと感じている。
	□	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・回復基調にあった来客数も、まん延防止等重点措置の適用に伴い再び鈍化傾向となっている。食料品は比較的好調なもの、非食品分野は軒並み厳しい状況である。
	□	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・行楽地沿いの店舗なので、ゴールデンウィークは客の来店が余り見込めなかった。
	□	衣料品専門店（統括）	来客数の動き	・新型コロナウイルスが発生してから1年が経過したが、ほとんど客の来ない状態である。街中はひっそりとした状況が続いている。特に、祭礼行事が全滅状態なので、当店にとっては大変である。
	□	家電量販店（店長）	販売量の動き	・夏の天候と東京オリンピック需要があるのかどうかで変わってくる。
	□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新車、中古車販売は今一つ伸び悩んでいる。その反面、車検等の整備売上は順調に推移しているので、ほっとしている。
	□	住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク期間中は人の動きもあり、来客数もやや増えていたが、連休明けからは天候不順もあったため、来客数が落ちてきている。
	□	その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	来客数の動き	・直近3か月の売上は前年よりは上向いている。3年前との比較で、前年と今年の動向をみると、まだ利益を確保するほどの回復には遠い。3年前と前年の比較では70%台で推移している。新型コロナウイルスのまん延防止等重点措置適用地域に該当しているので、客の動きが鈍い状態が続く。
	□	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・来客数は1組当たりの人数が1～3人と少なく、また、天候にも純粋に比例して左右される傾向がある。1～2人で行動し、雨が降る日は帰る。予定した飲食行動は少ない。

□	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・飲食が新型コロナウイルスの感染を拡大するという偏見が、いまだ大きいと感じる。
□	旅行代理店(経営者)	来客数の動き	・東京都の緊急事態宣言や当県のまん延防止等重点措置の発出により、旅行需要の回復がみられない。
□	旅行代理店(所長)	来客数の動き	・当地区の新型コロナウイルス感染者は、少数にとどまり落ち着いてはいる。ここ数日は減少傾向ではあるが首都圏の感染拡大が止まらず、個人もさることながら、林間学校や団体等、教育旅行のキャンセルや延期が多く出ており、厳しい状況にある。
□	競輪場(職員)	来客数の動き	・新型コロナウイルス禍のなかで、入場者数等に特に変化はみられない。
▲	商店街(代表者)	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染拡大の状況が、地方の大都市へと拡大してきており、当地のような田舎にも影響が出てきている。来街者の減少により入店者が少ないため、売上は減少し、なじみの客は節約志向で最小限の買物で済ませている。
▲	コンビニ(経営者)	来客数の動き	・ゴールデンウィークくらいまでは何とか良かったが、連休後、観光客を含めて来店客数が大きく落ち込んでいる。恐らく、新型コロナウイルスの感染拡大のせいではないか。
▲	家電量販店(店員)	販売量の動き	・前年は1人10万円の特別定額給付金が支給され、大型耐久消費財が多く売れたが、今月は前年同月比で88%、前月比では115%と、徐々に販売量が落ち始めている。エアコン、冷蔵庫、洗濯機、テレビ、スマートフォン関連等の商材が好調である。
▲	家電量販店(営業担当)	販売量の動き	・前年は、マスク、消毒剤、体温計、パーティションといった新型コロナウイルスの感染対策商材の購入が企業からも多くあったが、今では普及したため、前年比90%と苦戦している。
▲	乗用車販売店(販売担当)	来客数の動き	・自動車販売と修理をしているが、来客がめっきり減っている。新型コロナウイルスの影響で、来店客が少ないので、修理は当店から客のところに取りに出向いている。その分、手間も掛かるので、売上も少なくなる。
▲	その他専門店 [燃料](従業員)	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染拡大のため、受注減が続いている。
▲	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・ゴールデンウィークが明けて急激に暇になっている。高齢者は相変わらず動かない。連休明けから新型コロナウイルスの変異株感染者が増えたことも影響している。
▲	その他飲食[給食・レストラン](総務)	競争相手の様子	・事業所給食部門の一部では、入札参入企業が増加する等、最終的に契約条件が厳しくなる傾向がみられる。他部門での業績悪化をばん回するための方策の1つとして、取り組んでいる結果とも考えられる。
▲	都市型ホテル (支配人)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、4月中旬から市町村の飲食店に対して営業時間短縮要請が出ていたため、やや悪くなっている。
▲	都市型ホテル (総支配人)	来客数の動き	・宿泊は、4月からゴールデンウィーク期間までは好調に推移していたが、連休以降は急激に落ち込んでいる。料飲部門は、県からの時短要請の影響もあり、今のところ、浮上の見込みすら立たない状況である。
▲	タクシー(経営者)	お客様の様子	・昼も夜も人の動きが悪く、前年同月と比べて15%の減少である。
▲	通信会社(営業担当)	販売量の動き	・緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の影響で、来客数や販売数の鈍化、実績低迷が続いている。
▲	通信会社(総務担当)	来客数の動き	・高齢者で外出自粛要請を守る方が一定数いるため、来店予約をキャンセルするなど、来客数が減少している。
▲	ゴルフ場(総務担当)	来客数の動き	・今月16日から新型コロナウイルスのまん延防止等重点措置が県内の一部で適用となったことから、コンペ等の予約キャンセルが増えてきている。
▲	美容室(経営者)	来客数の動き	・2019年の年金2000万円問題を始め、漠然とした将来不安が非常に根強く、消費や投資を手控える傾向が続いている。

	▲	その他サービス 〔自動車整備業〕（経営者）	お客様の様子	・東京都に再発出された緊急事態宣言で、客の不要不急意識が高まり、消費にもその意識があるようで、買物や自動車整備にも影響が拡大してきている。
	▲	設計事務所（所長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まったものの、旅行、宴会等を実施できる状況にはなっていない。旅客、娯楽、飲食業を中心に、いまだ厳しい状況が続いている。
	▲	住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・材木不足により住宅建築のめどが立たず、客の動きが鈍い。米国からの木材が輸入できない限り、この状態からは脱却できないと予想される。
	×	一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・客の動き自体も悪く、巣籠りでインターネット関連業界は好景気かもしれないが、一般家庭や一般販売店はかなり厳しい状況ではないか。
	×	一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス禍以前の2019年と比較した売上達成率は、2月は40%に対し、今月は28%である。当店の立地する観光地は、首都圏からの来客が多くを占めており、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発出され続けているため、来客が望めない状況である。また、土産を買って帰っても、周囲に配ることができないことから、土産物の購入も望めない。
	×	百貨店（店長）	来客数の動き	・当県のまん延防止等重点措置の適用以降、来客数の減少が顕著である。
	×	衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・現状だと、新型コロナウイルスのワクチン接種が終わるまでは、客は出てこないような状況である。当店の客は高齢者が多く、年金受給者の割合も相当高いので、本当に人が出てこない。特に、今月は顕著でひどい状態である。人が生きていける政策を、早めに打ってもらわないと、私たちも生きていく術がなくなってしまう。
	×	乗用車販売店（販売担当）	来客数の動き	・全てを新型コロナウイルス禍のせいにはしたくないが、収束していない現状では、観光客もドライブイン、レストラン、土産店に来ないので、当社の顧客は困っている。ワクチン接種が進まないのが、客も感染を気にして外出しないため、販売も少ないが、徐々に修理関係も、少しくらいのきずなら直さない、多少の故障は我慢する、とあって、家から出ない現象が起きている。早くワクチン接種が進んで、感染状況が落ち着くのを待っている。
	×	住関連専門店（店長）	それ以外	・緊急事態宣言が6月中旬まで延長になる予測で、飲食、観光業や航空会社の不振が長引いている。切り札である新型コロナウイルスのワクチン接種も思った以上に進んでいないため、悪くなっている。
	×	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・県独自の飲食店への時短要請の影響が過大である。20時までの営業では来客がほぼない。
	×	都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・飲食業界に対する自粛や休業要請により、外食産業への消費が停滞している、というよりも皆無である。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・首都圏の緊急事態宣言等の適用で、地方まで影響が出ており、利用客がいなくなっている。夜から深夜にかけて人通りがなくなっている。家飲み慣れで外で飲むのがおっくうになったという客が多い。地方では、今後もこの状況はしばらく続くように思う。
	×	タクシー（役員）	それ以外	・政府の新型コロナウイルスの対策がひどすぎて、どうにもならない。
	×	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク期間に、首都圏に対して、緊急事態宣言や、まん延防止等重点措置が発出されたことから、来客数が例年を大きく下回っている。
	×	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・緊急事態宣言発出中のためか、すっかり夜の街が閑散としている。飲食店、スナック、居酒屋等、店が閉まって苦しい状況下であり、撤収や倒産もちらほら出てきている。事務所関係の引き合いもほとんどない。土地は、価格の安い物件には引き合いがちらほらあるが、それ以外は全く動きがない。
企業 動向 関連	◎	一般機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・協力工場である熱処理会社各社の仕事量が増加し、スポット生産への対応等が困難となる状況が増えており、納期対応に苦慮する事案も増えている。

(北関東)	○	化学工業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・ゴールデンウィーク明けの受注や出荷量の戻りが予想より早く順調になってきている。
	□	窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・当社も新年度を迎え、新型コロナウイルス騒ぎにも巻き込まれず、こつこつと営業している。
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・半導体不足解消のめどが立っておらず、自動車の減産は続いている。
	□	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・前年は特別定額給付金の支給があり、全体的に前年の15%増の実績と高めだったが、今年もインターネット通販向けのレジャー用品、バーベキューコンロ、キャンプ用品、テーブルチェア等、また、料理家電等の物量が多く、前年同様の物量を確保している。
	□	経営コンサルタント	取引先の様子	・全国的には依然として、緊急事態宣言の発出地域もあり、地域経済は回復というにはほど遠い。新型コロナウイルスの影響を受けにくい、あるいはそうした環境から遠いところにある業種が、通常に近い経営を維持している。
	□	司法書士	受注量や販売量の動き	・ほとんど変わらないので回答の判断を1ランク変えるほどではないが、数字の上で言えば、ほんの少しずつ良くなっている。
	□	社会保険労務士	取引先の様子	・新型コロナウイルス感染拡大による経済活動低下の影響を受ける業界は、いまだに厳しい状況が続いている。
	□	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・今月は納入案件が多くあったが、商談件数、受注量共に、特段変化はみられない。
	▲	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・材料がまず手に入らず、もうそろそろ止まってしまうので、そうすると売上がゼロになってしまう。材料価格は大体10倍に高騰しているが、売値は変わらない。また、今、発注しても、入荷は6～8か月後とのことで、在庫は持っていないので、どうにもならない。これが続けば、会社存続の危機にもさらされることになる。
	▲	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・人の動きが少なくなっているようで、賃貸の入退居に伴う仕事も少ない状態である。
	▲	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・まん延防止等重点措置が発出されたため、入居テナントの飲食店が休業し、清掃等業務が休止したり、介護老人保健施設等の業務も当面延期になったりしたため、売上が減少している。
	▲	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・当地も自治体の新型コロナウイルスの感染拡大地域となっていたため、飲食業界を始めとしてサービス業は営業自粛期間であり、相変わらず広告出稿はない。
	×	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・売上は前々年の半分と、悪くなっている。
×	建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事主体で売上の95%を占める建設業を営んでいる。新年度がスタートしてから、公共工事は前年の55%しか発注がない。新型コロナウイルス禍のなかでのスタートで影響を受けている。今後の発注については、現在は予想もつかない。ただ、コロナ禍による不況で影響を受けている業種は多数ある。経験のない状況での経済である。今はワクチン接種をいかに実施するかし手の打ちようがない。全国民が自粛することが大事である。当社決算は、前年比10%増の受注があるので、今のところは安心である。	
(北関東)	◎	学校〔専門学校〕（副校長）	採用者数の動き	・次年度の企業の採用状況は、業界によってばらつきがある。先日実施した合同企業説明会では、おおむね例年どおりだが、場合によってはこのチャンスに良い人材を確保したいという動きもあるようで、「人」は動くと思われるので、景気にも良い影響が出るとみている。
	○	人材派遣会社（社員）	雇用形態の様子	・人材派遣の依頼数は回復してきている一方で、中途採用の選考ハードルが高くなっていると感じる。
	○	人材派遣会社（管理担当）	採用者数の動き	・派遣先の採用数が増加しているため、やや良くなっている。

○	職業安定所（職員）	求人数の動き	・ 飲食業の事業所では求人募集が再開され、派遣求人では製造業派遣の求人が増加している。
□	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・ 生鮮食料品や食材等は多少増えていると、スーパーの人出等を見ても分かる。住宅関連等は、改築、改装が多少みられただけで低迷している。製造工場は従業員の車両台数が少ないので、稼働はかなり少ないと思うが、横ばいに見受けられる。
□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・ 有効求人倍率は1.10倍と前月比0.1ポイント下回ったが、前年同月比では変わらない。有効求人数は前年同月比8.1%増と22か月ぶりの増加となっている。新規求人数は前年同月比25.2%増と、3か月連続で増加している。
▲	*	*	*
×	*	*	*